



平成 29 年 8 月 25 日

各 位

会 社 名	株式会社ファステップス
代表者名	代表取締役社長 高橋 秀行 (コード番号 2338 東証第二部)
問合せ先	取締役管理部長 村山 雅経
T E L	03-5360-8998 (代表)

子会社の異動（株式譲渡）及び特別損益の発生並びに

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、当社連結子会社である株式会社ピーアール・ライフ（以下、「PRL」といいます。）の全株式を譲渡することを決議いたしました。これにより、平成 30 年 2 月期第 2 四半期決算において、当該譲渡に伴う特別損益が発生する見込となりましたので、下記のとおりお知らせいたします。また、平成 29 年 4 月 14 日に公表いたしました平成 30 年 2 月期第 2 四半期連結業績予想及び通期連結業績予想を修正することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 株式譲渡の理由

当社グループでは、手薄であった営業体制の補完や、メディア連動型のサイト開発や IT 広告などのインターネットビジネスを新たな収益として展開できるように平成 21 年 5 月に株式譲受けにより PRL を当社連結子会社としてメディアソリューション事業を開始いたしました。

当社は、PRL に対して、金 749,550 千円の借入金があり、その担保として、PRL 株式 1,530 株の担保差入をしておりました。平成 29 年 7 月 13 日付で PRL から株式会社ドリームデベロップメントへ債権を譲渡した旨の債権譲渡通知書が届きました。その後、株式会社ドリームデベロップメントより、平成 29 年 8 月 25 日付で担保権を実行する旨の通知書が平成 29 年 8 月 23 日に届き、PRL 株式を譲渡するように求められました。当社としては、今後の資金繰りや、当社グループの損益に与える影響を鑑みると、借入金を全額を支払うよりも、PRL 株式の譲渡をし、新規事業を含む他事業へ経営資源を集中した方が企業価値向上にあたることから株式譲渡をすることといたしました。

PRL は大手広告代理店との競争激化により、大手クライアントから失注するなど前事業年度から大幅な減収になっております。平成 30 年第 2 四半期連結会計期間においても、営業損失が膨らんでおり、今後も回復する見込みが無いことから、当社グループの損失額を抑えるためにも、全株式を譲渡することが得策であると判断いたしました。

2. 異動する子会社の概要

(1) 名 称	株式会社ピーアール・ライフ		
(2) 代表者の役職氏名	代表取締役 中尾 博		
(3) 本 店 所 在 地	東京都台東区台東一丁目 31 番 9 号		
(4) 主 な 事 業 内 容	広告代理店業		
(5) 資 本 金	10,000 千円		
(6) 設 立 年 月 日	昭和 52 年 4 月 1 日		
(7) 大株主及び持分比率	株式会社ファステップス 51.0% 長谷川清英 39.0%		
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	当社は当該会社の発行済株式総数の 51%の株式を所有しております。	
	人 的 関 係	当社の役員 1 名が、当該会社の役員を兼任しております。	
	取 引 関 係	当社は当該会社より資金の借入の取引がありました。	
(9) 株式会社ピーアール・ライフの最近 3 年間の経営成績および財政状態			
決算期	平成 27 年 2 月期	平成 28 年 2 月期	平成 29 年 2 月期
純資産	1,243,673 千円	1,339,999 千円	1,321,053 千円
総資産	3,054,366 千円	4,133,717 千円	2,912,596 千円
1 株当たり純資産	414,557.97 円	446,666.42 円	440,351.30 円
売上高	6,285,519 千円	7,916,485 千円	3,660,169 千円
営業利益	256,115 千円	184,746 千円	△92,148 千円
経常利益	225,060 千円	171,736 千円	△39,610 千円
当期純利益	72,177 千円	104,491 千円	△31,704 千円
1 株当たり当期純利益	24,059.31 円	34,830.61 円	△10,568.31 円
1 株当たり配当金	—	—	—

3. 譲渡の相手先の概要

(1) 名 称	株式会社ドリームデベロップメント		
(2) 代表者の役職氏名	代表取締役 高野 友邦		
(3) 本 店 所 在 地	東京都江東区清澄二丁目 9 番 11-601 号		
(4) 主 な 事 業 内 容	経営コンサルティング		
(5) 資 本 金	10,000 千円		
(6) 純 資 産	10,000 千円		
(7) 総 資 産	10,000 千円		
(8) 設 立 年 月 日	平成 26 年 5 月 20 日		
(9) 大 株 主	高野友邦 100%		
(10) 上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	該当事項はありません。	
	人 的 関 係	該当事項はありません。	
	取 引 関 係	該当事項はありません。	
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。	

4. 譲渡株式数、譲渡価額、譲渡前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	1,530株（議決権の数：1,530個、議決権所有割合 51.0%）
(2) 譲渡株式数・譲渡価額	1,530株（議決権の数：1,530個、譲渡価額 549,550千円）
(3) 異動後の所有株式数	0株（議決権の数：0個、議決権所有割合 0.0%）

5. 異動の日程

平成 29 年 8 月 25 日 取締役会決議日

平成 29 年 8 月 25 日 担保権実行日

平成 29 年 8 月 25 日 株式譲渡日

6. 特別利益及び特別損失の発生について

本件による子会社異動に伴い、個別業績において、関係会社株式売却損 61 百万円が発生する予定です。また、連結業績においても、関係会社株式売却損益が発生する予定ですが、現在精査中であり判明次第、速やかに開示いたします。

7. 平成 30 年 2 月期第 2 四半期連結業績予想数値の修正（平成 29 年 3 月 1 日～平成 30 年 8 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期 純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,200	△10	△10	△10	△2.09
今回修正予想(B)	700	△30	△40	△40	△8.37
増減額(B-A)	△500	△40	△30	△30	
増減率(%)	△41.7	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成29年2月期第2四半期)	3,173	△140	△142	△98	△29.77

8. 平成 30 年 2 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 29 年 3 月 1 日～平成 30 年 2 月 28 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,400	20	20	10	2.09
今回修正予想(B)	1,300	△20	△10	△10	△2.09
増減額(B-A)	△1,100	△40	△30	△20	
増減率(%)	△45.8	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成29年2月期)	4,955	△316	△289	△459	△120.98

9. 修正の理由

第2四半期連結累計期間において、上記のとおり株式会社ピーアール・ライフが連結子会社から外れることにより、売上高が大幅に減少する見込みとなりました。それに伴い、各段階利益につきましても前回予想を下回る見込みとなりました。なお、上記6.に記載の株式売却損益につきましては、現在精査中であり、上記連結業績予想数値の修正に含めておりません。

以 上

(注) 本資料に記載しております業績予想等につきましては、現時点で得られました情報に基づき算定しております。実際の業績は、今後様々な要因により本資料の見通しとは異なる結果となる可能性があります。